



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 倉庫精練株式会社
代表者名 代表取締役社長 中前 和宏
(コード番号 3578 東証第二部)
問合せ先 総務課長 上田 紀昭
(TEL. 076-249-3131)

(訂正)「第 2 四半期連結業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は平成 28 年 11 月 11 日に発表した表記開示資料について一部訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

訂正箇所には下線_を付して表示してあります。

記

1. 訂正理由

「第 2 四半期連結業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の記載内容に誤りがあったため、これを訂正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正箇所①

1.平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想値と実績値の差異
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(訂正前)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,910	百万円 △20	百万円 △10	百万円 △20	円 銭 △2.81
今回発表実績(B)	1,697	△110	△293	△305	△42.88
増減額(B-A)	△213	△90	△283	△285	—
増減率(%)	<u>△11.1</u>	—	—	—	—
(ご参考)前年第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	1,604	△188	△255	△267	△37.58

(訂正後)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,910	百万円 △20	百万円 △10	百万円 △20	円 銭 △2.81
今回発表実績(B)	1,697	△110	△293	△305	△42.88
増減額(B-A)	△213	△90	△283	△285	—
増減率(%)	<u>△11.2</u>	—	—	—	—
(ご参考)前年第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	1,604	△188	△255	△267	△37.58

訂正箇所②

2. 平成29年3月期通期連結業績予想値の修正
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(訂正前)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,850	百万円 5	百万円 20	百万円 5	円 銭 △0.70
今回発表予想(B)	3,500	△180	△340	△360	△50.4
増減額(B-A)	△350	△185	△360	△365	—
増減率(%)	<u>△9.0</u>	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績(平成 <u>27</u> 年3月期)	3,451	△154	△413	△431	△60.58

(訂正後)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,850	百万円 5	百万円 20	百万円 5	円 銭 △0.70
今回発表予想(B)	3,500	△180	△340	△360	△50.4
増減額(B-A)	△350	△185	△360	△365	—
増減率(%)	<u>△9.1</u>	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績(平成 <u>28</u> 年3月期)	3,451	△154	△413	△431	△60.58

訂正箇所③

(訂正前)

3. 差異の理由

第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、海外向け車輻資材の減少特に内向け婦人衣料品の販売低迷により前回予想に比べ減収となりました。また利益は、売上高の減少に加え輸入原材料の高止まりと為替差損の要因から営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が、平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました業績予想を下回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間の業績をふまえ、下期についても引き続き先行きは不透明であると見込まれるため、売上、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想をやや下回り、前回公表の業績予想値を修正いたしました。

(訂正後)

3. 差異の理由

第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、海外向け車輻資材の減少特に内向け婦人衣料品の販売低迷により前回予想に比べ減収となりました。また利益は、売上高の減少に加え輸入原材料価格の高止まりと為替差損の要因から営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が、平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました業績予想を下回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、第 2 四半期連結累計期間の業績をふまえ、下期についても引き続き先行きは不透明であると見込まれるため、売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想をやや下回り、前回公表の業績予想値を修正いたしました。

以 上